

## 令和4年度第2回南区地域包括ケアシステム推進会議 議事録

1 日時 令和5年(2023年)3月29日(水) 14時から

2 場所 アスパル富合 研修室

3 出席委員(敬称略)

林 茂、宮本 格尚、濱崎 ももよ、今村 和八、関根 義臣、神原 ひろ子、高山 いくこ、渡邊 伸治、中熊 フサヨ

森 拓二、河元 多鶴子、宮部 寿一、重元 弥生、堤 信泰、村田 美妃、西堀 拓也、西岡 裕二、宮本 秀美

欠席委員(敬称略)

上野 幸人、宮澤 矢良

4 議事

(1) 今後の南区における介護予防のあり方について

(2) その他

5 議事録等(要旨)

○事務局

会議資料の説明

○林会長

新型コロナウイルス感染症の法分類が、5月9日から5類に下げられるということで、今後の介護予防のあり方について、皆さまからのご意見をいただきたい。

○地域包括支援センター(富合)重元委員

富合圏域でも、資料にあるようにコロナの影響で自粛している団体が多くなった。コロナも5類に移行することを受けて、地域の活動が再開されサロンへの支援依頼が多数寄せられている。再開に関して不安な地域もあり、再度チラシを作成して広報したり新しい人を誘ったりして再出発ということで取り組んでいる。地域では顔を合わせて実施したいという気持ちが募っている。一方、まだ踏み切れない地域もあり寄り添いながら一緒に考えていくべきと考えており、後方支援をしていく。

○地域包括支援センター(幸田)堤委員

老人クラブは、コロナ禍であってもグランドゴルフの活動は継続していた。介護、フレイル予防、詐欺被害の防止等について啓発して回ったが、参加者は3分の1ぐらいに減っていた。参加しなかった方には、各班長がチラシを持っていて伝えている。再開後、老人クラブの会長に状況をお尋ねする予定。

また、高齢者サロンについては、民生委員を中心に開催しているので、講師の調整や再開準備についての質問に応じながら支援している。地域によっては、民生委員も会長・副会長も変わり、コロナ禍前の経験者がいない校区もあるので、寄り添いながら校区担当が関わっている。民生委員がひとりで会場を開けて百歳体操のDVDを流し、それに地域住民が参加するという取組をしているところが幾つかあったが、そこが一番難しい。サロンの再開に向けてはどうしても力量がいるので、地域住民同士だけで開催しているところについては、ささえりあを中心に関わっていく。また、医療介護の事業者の協力を得ながら、サポートしていただくよう調整している状況。

## ○地域包括支援センター(熊本南)村田委員

熊本南は資料にあるように、様々なサロン、くまもと元気くらぶ、地域支え合い型通所サービスが、それぞれ立ち上がり、団体も多いというのが特徴。地域の力があるということが第一番と思う。元気くらぶや地域支え合い型通所サービスが継続出来ているのは、定期的な体力測定とか運動の指導が行われて追加支援が入っているというのも一つの要因かと感じている。福祉課予防担当、地域リハビリテーション広域支援センターの先生とささえりあが協力しながら計画をたてて半年に1回実施している。

高齢者サロンについては、生活支援コーディネーターを中心に、担当の方と次年度の計画を立てている。4月からの継続という形で、今年度よりは拡大して内容も充実していくのではないかと思っている。老人クラブの方から、会長のなり手がなくて閉鎖になったという話を聞いた。そこが課題だと思っている。

## ○地域包括支援センター(飽田)西堀委員

飽田の高齢者の方は、健康意識が高い方が多く、元気だなという印象がある。今日も近くの公園で十数人ほどで花見をされていて誘われた。コロナ禍で自粛していたが、3月からほぼ全面的に再開している。グランドゴルフは休まずにコロナ禍の中も活動を継続していたと聞いている。

4月から新しく元気くらぶを立ち上げたいという話もある。お寺の境内を借りて4月から本格的に活動したいとのこと。登録はしていないが、週1回公民館に30人ぐらい集まって、健康体操等の活動をしているところもある。

全体的に意識は高いが、参加しない方、出来ない方をどのようにして集いの場にお誘いするかが課題かと思っている。

## ○地域包括支援センター(天明)西岡委員

老人会の会長から、参加人数も減ってきていている、と悩みを聴いている。ささえりあでも参加者が増えていくように広報誌等を活用し支援している。老人会の開催について、先日老人会長から相談を受け健康講座について支援した。少しずつ再開する所も出てきており引き続き支援していく。

高齢者サロンについては、活動は休止。一つの校区だけ休みなく実施していて、生活支援コーディネーター、看護師が活動の支援をしている。来年度に向けては、通いの場となるような地域づくりをということで団体の方が立ち上げる話もあり、通所Bや通いの場ができてくるのではと思っている。元気クラブはまだ立ち上がってはないが、引き続き啓発活動を行っていきながら介護予防の支援に取り組んでいきたいと思っている。

## ○地域包括支援センター(城南)宮本委員

老人クラブの活動状況で、会員数は減っているが老人福祉センターの利用者は増えているという印象。コロナ禍の中でも開館されてからは徐々に参加者も増えていると聞いている。老人福祉センターとささえりあ(城南)は同じ建物の1階と2階にあるので行き来しやすく、確認、対応が出来る環境にある。サロンは徐々に再開している。再開に向けては、全面的にサポートしている。介護予防の内容を提供するのにあわせて地域の事業所とのつなぎの場としている。くまもと元気くらぶと通所Bは立ち上がってはいないが、元気くらぶの要件は満たさないけれども自主的に活動している団体もある。

## ○まちづくりセンター(幸田)

幸田まちづくりセンターでは、新型コロナウイルスの感染症の拡大もあり今年度までなかなか活動ができていなかった。ただ、自治会連合会の例会は毎月実施。各自治会で活動の状況等確認はしていたものの、様々な活動 자체は出来なかった。幸田まちづくりセンターでは、まちづくりサロンという新規事業を始めており、いろんな方々が対話を通じて様々な活動につなげていくというようなことを始めている。来年度に向けて、そこから出てきたアイデアを実現させていくということを考えている。

## ○まちづくりセンター（南部）

南部まちづくりセンター管内でも、徐々に活動を再開していきたいという団体の方とか、老人クラブの方とかから相談をいただいている。公民館でも再開したいという相談を受けていた。今日の議題にもあるように5類への見直しが今後あると思うので、まちづくりセンターとしても連携を図りながら実施していきたいと思う。

## ○まちづくりセンター（飽田）

状況的には他のまちづくりセンターと同じような状況。

校区の健康まちづくりについて、今年度は、ささえりあや保健子ども課と健康状況にあった取組等少し細かな活動をしようと話し合いをしている。

## ○熊本市社会福祉協議会南区事務所長 今村委員

社協では、昨年もサロン研修等をアスパル富合のホールで実施した。各校区のふれあいいきいきサロン等に支援している。今回、集合型のサロンの開催が難しかったという話があったが、これからは、リハ室に行くことだけがリハビリではなくて、集合型サロンに行くことだけがサロンではなく、サロンの中でささえりあや保健師等から教えてもらったスクワットとか口腔ケアを在宅で各自が実施していくば、さらにサロンの拡充につながるし、健康増進ともなるのではないかと思い、そのような推進も、一緒になって考えていけたらと思う。

## ○熊本市民生委員児童委員協議会 関根委員

御幸校区は、サロンに関しては昨年の4月以降開催している。各町内のサロン、それから月1回、第4木曜日に町内全体のサロンを開催しているがそれも続けて活動している。子供のほうもみゆきクラブ、同じように開催している。サロン関係は各民生委員で活動を開始している。

## ○熊本市8020健康づくりの会 神原委員

サロンの活動が休みということで、8020 推進員に対しての要請は、少なくなっている。今後5類に変更となる 5月以降は、要請があれば地域のサロンに出かけていきたい。またそれとは別に、推進委員の主な活動は、小学校の子供たちの虫歯予防のケアということで、20校区の小学校でフッ化物洗口をしている。週1回、朝の8時過ぎぐらいから始業前に8020 推進員が3~4人で小学校に出向き、1年生と2年生を対象にフッ化物洗口をしている。

老人会のお世話もしている、昨日4年ぶりにお花見ができた。天草までマイクロバスで行ってきた。西堀さんのところに負けず、私たちの所も盛り上がった。老人会の会員が 58 名、内 29 名が参加し、とても好評で今後も継続していきたい。老人会も催しとかイベントをすることがないということで、去年の 6 月から、月1回、映画の上映会を始めた。多いときは22~23 名の参加があり楽しみにされているので、今後もできる限り続けていきたいと思っている。

## ○熊本市食生活改善推進員協議会 高山委員

食生活改善推進員協議会としては、シニアカフェで以前食事を作ったりしていたが、今は調理されたものを皆さんに提供したあとゲームをしたりしている。去年の秋ぐらいから、公民館を使えるようになったので、これからは介護食とかにも取り組んでいきたいと思っている。

## ○熊本市歯科医師会 宮本委員

この2~3年のブランクを埋めるのがなかなか大変だとは思う。新型コロナウイルス感染症の位置付けが連休後に変わるので積極的に声掛けをしていただきたい。活動の核となる人へのお願いか必要と思う。いろんなサロンとかに声かけいただいて、もちろん歯科医師とか歯科衛生士とかに声かけいただいてもいいし、8020 の方もすごく勉強されているので、そういう活動をしてもらうといいと思う。

コロナ禍で歯科は一番危ない職業といわれていたが、歯科医院で感染した事例は一例もない。逆に口のホームケアをしているとコロナも含めていろんな感染症を防げるし、林先生が言われるように、口からものを食べるというのは人間の尊厳にも繋がり、食べれる間は人間は健康です、そういうところも含めて皆さんと協力しながらやっていきたいと思う。

#### ○熊本南警察署生活安全課 渡邊委員

防犯ボランティア、交通安全指導員を高齢者の方にお願いしている。子供の見守りや登下校の見守りとかもしていただき抑止に貢献いただいている。逆に、参加いただけすると生きがいや地域のために役立てるということで、より健康に過ごしていただけるのではないかとも思う。ぜひ参加したいということであれば、先に活動されている方にお声かけいただいて、ご支援をよろしくお願いしたい。

高齢者の犯罪被害防止のこと、電話での振り込め詐欺は南署管内の件数は少なくなっているが、被害額は増加している。一件当たりの額が大きくなっている。区役所を騙った還付金詐欺が西区で多かった。ガラガラ声で電話をかけてきて、今から病院で緊急手術を受けるので、ついてはすぐお金を振り込んでと。子供のことになると心配ですぐ送金されるということがあったので、是非紹介いただき、相談いただくように助言をしていただければと思う。

#### ○校区自治協議会(富合圏域) 中熊委員

健康まちづくり推進員は、富合町が熊本市と合併した時に、何回も研修会を開いて明文化した。そして今は、私たち富合町は、健康まちづくりを続けてきているが、ほかの地域はどうなったのかなと思う。会議を年 8 回開催し、講師の先生の話を聴いたり、子供たちと一緒に夏休みのラジオ体操を各地区で実施してきた。集まって体操することに意義があると思う。大きな行事としてタケノコ掘りウォーキングをしていたが、コロナの蔓延時期には自粛していた。今年は、選挙と重なりまた出来なくなった。今度は名前を変えて、雁回山の健康ウォーキングとして実施。

今は、富合地区全域にたくさんのサロンができた。自分の地域も戸数も増え人が増えたが、サロンに誘っても遠慮される。参加者は旧住民だけで女性が多い。元気くらぶの健康体操の DVD を使って体操をしているがとてもいい。コロナ禍の時も、消毒を徹底し距離も 2 メートルくらい開け、窓を全部開けて実施した。どうにかしてやろうと思えばできるかなと思う。

#### ○校区自治協議会(南部圏域) 森委員

コロナ禍で様々な意見があり、足並みをそろえる必要もあり思い切った行動が出来なかつたが、これからは出来る方向に向かっていると感じている。まずは広報紙等を作つて、知つてもらうことから始めていかなければと思う。またウイズコロナに関して、新しい技術を使って新しいことをしていくみたいなイメージだったが、本日皆様の話を聞いていて、例えば免許の返納をしてしまつて交通手段がないとか、サロンとかクラブに行きたいけど足腰が弱ってきて行けないとか、の課題に対して、自分も行くから乗り合わせて行きましょうか、と声掛けをしてみたりとか、今一度身近なことを見直してみようというのがウイズコロナなのかなということを感じた。

#### ○校区自治協議会(飽田圏域) 河元委員

飽田地区は、東、西、南と3校区あり、民生委員がささえりあと協力してサロンを立ち上げている。当南校区も 3 町内あるがサロン活動は休止中。再開の希望も出ているので、ささえりあと協力して進める。くまもと元気くらぶの飽田筋トレクラブに私も 3 月から参加しているが、人数の多さに驚いた。ホールが52名で一杯になっていた。平均年齢は 70 歳程度で、私も仲間と一緒に頑張ろうと思っている。皆さん参加したらいいなと思うが、高齢者の方は、歩けない方が何人もいるので、サロンを開いても公民館まで来れない方が出てきている。そこが問題だと思っている。また何かあるときはささえりあと声をかけたいと思う。

地域の方から、夜、声がしたり変な人がうろうろするという不安を相談されることがあって、飽田駐在所に相談して、その家に行ってもらい安心していただいたことがあった。テレビで毎日のように様々な事件の報道があつてるので、何時自分にという不安があるようで、今の独特な問題と思う。フィリピンのルフィとか捕まったから良かったが、まだまだ止まないので高齢者の方には注意しながら、安心できるように注意して廻っている。

#### ○校区自治協議会（城南圏域）宮部委員

杉上校区は、地区が13ある。私の地区の老人クラブは、会長が高齢となり継続できなくなった。ふれあいきいきサロンは、世話をする熱心な方が数名おられて毎月開催されていたが、コロナで3年間くらい休止している。隣の地区は、いきいきサロンをやろうにも世話する人がいない。老人クラブは活動しているという状況。地区によって状況はそれぞれ違う。ひとり暮らしの方を廻っていると、そういう所に行きたいという人が非常に多い。人と会いたいということ。人が集まるところがたくさんあるといいと思う。

#### ○熊本県看護協会 濱崎委員

訪問看護がコロナで変わったところはいくつかある。ガン末期で入院中の方が、面会が出来ないということで、在宅で看取りたいという方が3年間で増えている。コロナの中で私たちもフル装備で訪問看護を行い、県外から来られた方等が、面会もできて看取りをさせていただいたというケースが増えてきた。

また、デイとかサロンとかがコロナでできなかったので、筋力低下防止のため訪問を少し多くして、リハビリとかを多くしていこうという対策もしている。4月からサロンとかが再開するというのを聞いて嬉しく思う。訪問看護では、皆さんの病気が悪化しないためにはどのような生活をすればいいかというところでの指導を先生とも連携しながら行っている。活用していただければと思う。

#### ○林会長

皆さんの意見にあったように、様々な活動の場に行きたいけど行けないという問題、老人クラブ、サロン等、地域による違いもあるが、コロナも落ち着き新たな取り組みを南区として考えていけたらと思う。区役所、ささえりあ、まちづくりセンター、そして委員の方々と一緒に南区の地域包括ケアに取り組んでいきたい。高齢者だけでなく全体的に、また新しく来られた方々も含めてというところが大事かと思う。

このメンバーでは最後の会議になるが、様々な意見が聞けたので、皆さんの意見を活かして、地域包括ケアシステムを少しでも形があるものにしていきたいと思うのでよろしくお願ひしたい。

議事を終了したので、事務局の方にお返しする。

#### ○事務局

皆様の任期は、今月末をもって満了することとなります。

以上をもちまして、令和4年度第2回南区地域包括ケアシステム推進会議を閉会いたします。